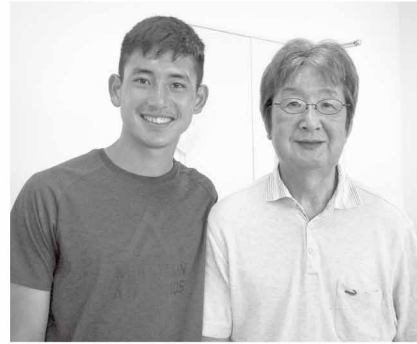


寄居の我が家 ホームステイ Homestay in Yorii

選手たちは、町内の家庭に1泊2日のホームステイをしました。

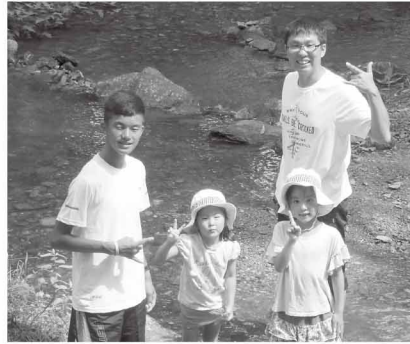


寄居のお父さん、お母さん
ありがとうございました。
ディネシュ選手



石川さん(牟礼)

タシ選手の我が家へのホームステイは、今回で3回目です。とても良い青年です。今回の食事は、豆腐やこんにゃくにもチャレンジしてみました。町とブータンには、これからも交流を続けてほしいです。



大濱さん(常木)

キンレー選手は、最初は緊張していましたが、礼儀正しく、子どもたちともよく遊んでくれました。日本の里に遊びに行ったり、夜は手持ち花火をしたりして、とても楽しい2日間でした。



内田さん(六供)

ディネシュ選手は、礼儀正しい青年でした。ブータンの母国語のゾンカ語と日本語をお互いに教えあったりして、話も弾みました。これからも、陸上と学業の両立を頑張ってください。

弓道体験 Japanese Archery -KYUDO-



ブータンの国技はアーチェリー
寄居城北高校で弓道体験

ブータンの国技は「ダツェ」というブータン流のアーチェリーです。ブータンでは、子どもからお年寄りまで、日々「ダツェ」を楽しんでいます。今回は、寄居城北高校の弓道部にご協力いただき、選手たちに日本の弓道を体験していただきました。弓道部の生徒は「ブータンの人たちは、みんな笑顔がすてきでした。弓道に興味を持ってもらえてうれしかったです。外国の方と関わる機会はありませんので、貴重な体験でした」と話してくれました。



日本のKYUDOのファンになったよ。
キンレー選手

わたしたちも応援しています！ We support Bhutan Team !



事業を支えるボランティア ブータンサポーターの皆さんと共に

ブータンサポーターは、ブータンとの交流事業の際に、イベントの補助や通訳などをさせていただくボランティアの皆さんです。今回の事業では、トレーニングの際に会場整理や選手たちのサポート、ブータン料理作りの際の通訳にご協力いただきました。また、帰国の前日には交流イベントを行い、選手たちに浴衣を着せたり、ブータンの民族衣装を着せてもらったりと交流を深めました。

Yoriiの皆さんのことが大好きです！

ツェリンさん



ブータンの料理はどんな味？ 小学生親子とブータン料理作り

世界一辛いといわれるブータン料理。町内の小学生18人とその保護者と一緒に、じゃがいもと唐辛子のチーズ煮込み「ケワダツィ」と、鶏肉と唐辛子の煮込み「ジャシャマル」を作りました。参加した児童たちは「ブータンの料理を作って楽しかったから、ブータンに行ってみたい」「辛くて、口が痛い！」「男の人もテキパキと料理していてすごいと思った」と話してくれました。



みんなと一緒に作って食べると楽しいね！

タシ選手

ブータン料理体験 Let's Cook Bhutanese Food !



ブータンでは手で食べます！ シゲルさんが実演。▶